

サーバー仮想化はどこにもメリットがあるか ポイントは電力、スペース、管理、運用に!

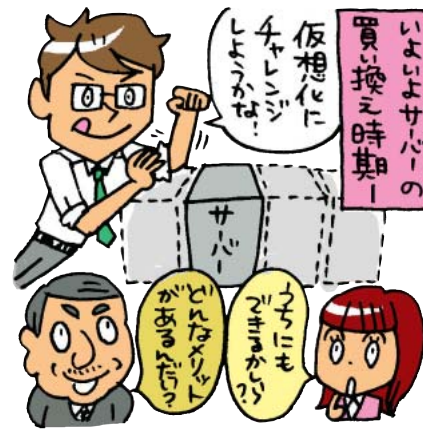
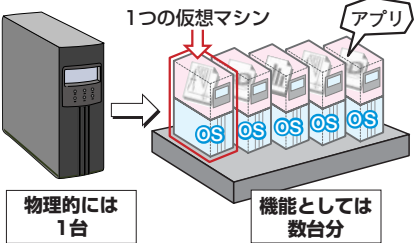


前号 (COMPASS 2008 年春号) で取り上げたサーバーの仮想化は、「機能はそのままに社内にあるサーバーの数を減らす」という新しい発想を提供した。数台分のサーバー機能を1台に集約するが、各々 (仮想的に) 独立したサーバーとして動くので、企業側に様々なメリットをもたらす。

近いうちに既存のサーバーをリリースする企業やサーバーの増設を考えている企業は、是非仮想化にチャレンジしてほしい。

サーバーの仮想化

サーバー性能の進化を受けて、1台のサーバーが所有するCPUやハードディスクなどの資源を見かけ上分割し、複数のサーバーがあるものとして運用すること。サーバーとみなされた個々を「仮想マシン」という。



今回は、仮想化を実行するにあたって、「仮想化は難しいのではない」「メリットを具体的に知りたい」という疑問に答えていくことにする。

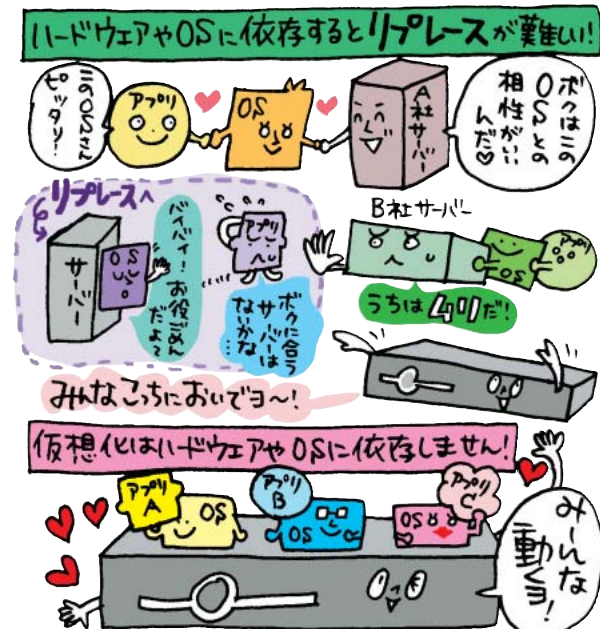
今までのアプリをそのまま移行できる

Microsoftの新しいサーバーOS「Windows Server 2008」には仮想化ソフト「Hyper-V」が添付されており、仮想化の実行にはこれを使うのが近道だ。

既存のサーバーからHyper-V仮想マシンへの移行は、専用のツールを使って順序良く簡単に行えるため (2008年秋から提供開始予定)、作業はスムーズ。

しかし、「今まで各社のサーバー、それぞれ異なるバージョンのOSを使っていたので移行できないのではないかと心配する人もあるだろう。」

仮想化のメリットの第一は、現在使っているサーバーのハードウェアやOSが違っていても、それをWindows Server 2008の上で吸収できることだ。業務アプリケーションが特定のOSとハードウェアに依存している場合、



なかなかサーバーのリリースをしにくいのが、OSとアプリをそのまま移行できる仮想化によって、この問題が解決される。

システム上の大きな変更をせず、性能が高く多くのメモリーとハードディスクを持つ最新のサーバー上でアプリケーションを動かせるようになるのだ。

電力消費を抑えて地球環境にも貢献

中小企業向けサーバーで人気のデールによると、仮想化を実行した企業は、1台のサーバーで平均4台から15台分のサーバー機能を持たせることに成功しているという。

その結果、次のコストが4分の1~15分の1になるのだ。

まずは、電力の消費量。サーバー

の台数が減れば、その分、消費電力が抑えられ、電気代の削減はもちろん、環境にも貢献する。

次に、サーバーの設置には、電源ケーブル、ネットワークケーブルなどの各種ケーブル類、さらにキーボード、マウスなどの配線が必要だが、これらが不要となり配線の複雑さも回避される。

さらに、サーバーの台数が減り設置スペースが少なくて済むことで、

サーバーの仮想化のメリットとは

- 電力消費量を抑える
仮想化によって4~15台のサーバーが1台分に集約できる。つまりサーバーに関するコストも4分の1~15分の1に!!
- 管理の負荷が減る
・保守料、メンテナンス料
・社内の管理工数
- 設置するスペース・空間が少なくて済む...
- 配線や周辺機器が不要に
ケーブル、電源、マウス、モニター、キーボードなど...
- もちろんハードウェアの購入代金もそのまま買い換えるよりグリーンとリーズナブル

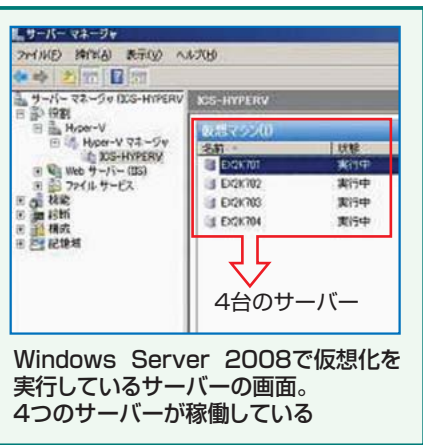
低コスト

低コスト

低コスト

低コスト

高性能のサーバーを低コストで活用



オフィス空間を有効に使え。管理の手間も軽減されるはずだ。1台ごとに支払っていた保守契約料が不要になるのも見逃せないところだろう。そしてもちろん、リリースに伴うサーバーの購入代金も1台分でOKとなる。

このように、目に見えるコストだけでなく、サーバー代、周辺機器や配線料、保守料、電気代など、大幅にコストダウンすることができるのだ。

デルでは、手軽にサーバー仮想化が進められるWindows Server 2008のスタートパックを用意している。

「PowerEdge SC1435 Hyper-V対応モデル」では、サーバーOSをセットにしたラック型サーバーが20万円未満で購入できる。

サーバー機能を1台に集約するならこれ!

PowerEdge SC1435 Hyper-V対応モデル

<サーバーのスペック>

- ・プロセッサ 2.0GHz デュアルコア AMD Opteron 2212HE (低消費電力版)
- ・メモリー 2GB
- ・HDD 80GB 7200回転 SATA II 3.5" HDD
- ・オペレーティングシステム Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Edition 日本語版 (5CAL付)
- ・サービス【ベーシックNBD】1年間翌営業日対応オンサイト保守サービス

<価格>
構成例価格 252,525円
⇒ **パッケージ価格 179,800円** (税込・配送料別)

<http://www.jp.dell.com/winpack>

このサーバー1台で数台分の仮想マシンを動かすことができるから、サーバーのリリースや新設を考えているなら、この機会に仮想化にチャレンジしてみよう。

お問い合わせ先
デル株式会社
電話 ☎ 0120-912-037
URL : <http://www.jp.dell.com/winpack>